



沼田町化石館だより

2015年6月11日 83号

この化石館だよりを高画質カラー版は化石館のホームページと、沼田町教育委員会のブログからご覧いただけます。

化石が結ぶ人の縁

名館館長 木村方一



35年前（1980年）、深川市の時計屋のおじいちゃんが沼田市街の南側、面竜川の河原で丸太のような長い化石と樹状の標本をもつ標本を発見した。おじいちゃんは職業から手先の器用さを生かしてきれいにクリーニングを完了した。私はその化石の研究を託され、クジラ化石と推測したが、クジラの標本を特定するための資料は国内に発見できなかった。そこで推測したクジラの骨格標本を展示・保管している施設を見て回った。国立科学博物館・東京水産大学・日本鯨類研究所・大阪自然史博物館・京都大学自然史博物館・和歌山県太地町くじら館・宮城県女川町くじら博物館で写真撮影と計測記録を作った。

何処の施設の管理者も小生の目的を理解し協力的であった。鮎川くじら博物館の館長は、骨格標本1式を寄贈してくれた。海水中で油抜き中の標本をその年の秋に引き取りになった。乗用車の屋根にスキーハンガーを設置して運搬を兼ね、トラックいっぱいに脊椎骨や肋骨など小骨物を詰めてフェリーに乗って北海道へ運んだ。体長4.5mのミンククジラ幼体であった。

2011年3月11日の大津波は鮎川くじら博物館を飲み込んでしまいましたすべての標本は失われた。その時の館長さんの消息が気になり、当時被災者死亡欄に訂付けになったが名前を発見出来なかった。そこで生存の可能性を求めて市役所に調査を求めた。館長さんは生存しており仮設住宅で生活していた。当日は朝から地元を離れていて災害を免れたとのこと。お見舞いに北海道を代表する六花亭の菓子箱を送った。電話が来た。甘いものは食べられないとのこと。でも心は通じたようだ。

入館者数 1万5千人 おめでとう！



おめでとう！

化石体験館の入館者数（入館チケット発行数）が1万5千人になりました！5月2日、展示室で札幌からお越しの仁平さんに、篠原館長から記念品の贈呈がありました。おめでとうございます！

◆化石採集会募集中！◆



5月31日、微量の雨の中、化石採集会が幌新太刀別川で実施されました。川は水量が減っており、河床が露出し、そこには大量の化石が埋まっていることを確認できました。

←田中三郎指導員の発掘テクに模倣する参加者

札幌や室蘭、沼田町内からも、合わせて30人がいらっしやいました。この採集会に参加するために一年間待っていた方もおり、自分で掘り上げた貝化石に満足されている様子でした。採集会に参加したい方は是非、化石館ホームページ「化石採集会」から応募ください。7月20日と31日は若干の空きがあります。

沼田町化石体験館は幌新のほたる館の向かい
町民の皆さんは無料で入館できます！

化石採集は人々を「熱病」にする

学芸員 田中真直



「化石を掘るって楽しい？」そう聞かれると「むっちゃ楽しいですよ」と答えます。

週末、沼田町を流れる幌新太刀別川（ほろにたちべつがわ）で、化石採集会を行ない化石ファンが集まりました。興味ありますか？あなたの参加をお待ちしています！左下図の記事参照してください。

化石採集会では楽しそうにしている人がたくさんいます。ところが、中には本気も本気。自分が掘り上げようとしていたタカハシナガが壊れてしまい、顔色を変えて、別の化石を探しまわっている人もいました。まるで「熱病に冒されたように」河床を歩き回っているのです。化石採集はそれくらい人を熱中させる魔力があります。

始めて幌新太刀別川に行ったとき、私も心が騒ぎました。これはきっと現場に行かなければ分からないかもしれない。水量が減った川に降りると、とても変わった風景が広がっています。川の床が乾いていて、川の土流と下流に向かって本々が開いているのです。河原には巨大なタカハシナガが見られます。それも、一つや二つではありません。大量の化石です。太古の高度がそのまま露出しているのです。「これはすごい」と声が出てしまうほど、奇妙な感覚です。

化石の世界は探集するだけでは終わらない。絶滅の瞬間のそこでは詳しく述べられませんが、探集したモノを調べ、ヒトと出会う中で、色々なことが起こります。これが化石を掘る本当の楽しさかもしれません。化石の世界は無限に広がって行きます。

化石の宝庫：水の引いた幌新太刀別川ー



6-7月 化石体験館の予定
休館日：6月15, 22, 29日, 7月6日

月曜日が定休です。
土日は休まず開館しています！



沼田町化石館だより 2015年6月 83号
発行：沼田町化石館 編集：田中真直
〒070-2102 北海道室蘭市沼田町1番2丁目7-49
電話/Fax 0154-35-1034
メール/kaseki@quitar.com.ne.jp
ホームページ
<http://sumata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>

化石館だよりは毎月第二水曜日発行。次回は7月9日です。